

## 別紙 減少した種

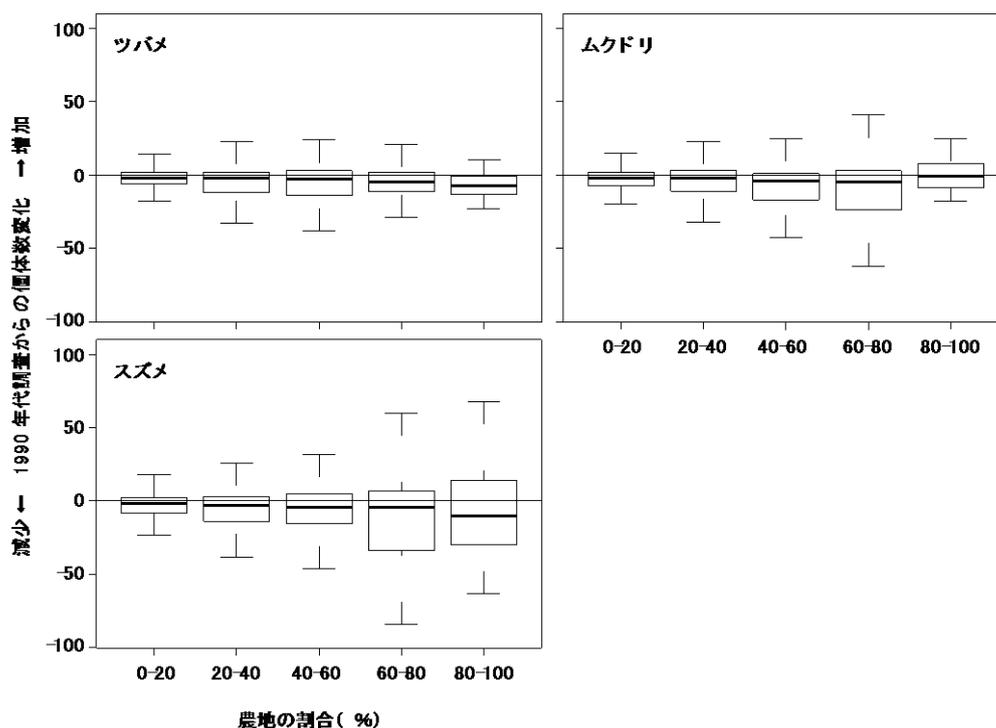


図 身近な種の個体数変化

※ツバメ、ムクドリ、スズメの1990年代調査からの個体数変化と農地割合との関係を示す。中央の太線はデータの中央値（メディアン）。箱の最上端は第3四分位数、箱の最下端は第1四分位数をあらわす。また、上側のひげおよび下側のひげは（第1四分位数-1.5\*（第3四分位数-第1四分位数））以上（第3四分位数+1.5\*（第3四分位数-第1四分位数））以下の範囲を示す。農地の割合はコースと重なる100mグリッドの土地利用に農地が占める割合（1990年代調査時の割合を使用）。